



函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第518回例会

1974~1975 第14号 1974. 10. 2

~Renew the Spirit of Rotary ~
 ~ロータリーの精神を振り起こせ。~
 (William R. Robbins R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 (0138) 23-3870

本日のプログラム

~交通事故犯の教誨について~
 函館刑務所教誨師 木村 清満氏

第517回例会記録

- ◎司 会 青柳 喜一会長
- ◎ゲ ス ト 川島 龍司氏
- ◎ビジター 函 館R.C. 村上 岩夫君 他10名
 函 館 東R.C. 高野 武久君 他 6名
 函館五稜郭R.C. 柳沢 勝君 他 4名
- ◎齊 唱 それでこそロータリー

場 所 室蘭市・室蘭文化女子大学

登録料 3,000円

以上出席の方は幹事までお知らせ下さい。

◎社会奉仕委員会

9月18日の野外例会は好天に恵まれ、亀田八幡宮の大祭を前にして清掃奉仕及びびくず箱の寄贈等無事終了いたしました。

◎親睦活動委員会

市川会員 長女の結婚式が無事すみましたので
 野村会員 アメリカ旅行無事帰函並びに会社決算の終了
 北条会員・川村会員 移動例会欠席のお詫び
 椎谷会員 草踏会ゴルフ優勝を記念して
 函館東R.C.白崎会員 アメリカ旅行無事終了

最近のJC活動の現況について、函館青年会議所 落合理事長

当函館青年会議所は今から24年前、全国 570会議所の内、東京・大阪・前橋に続いて4番目に発会しました歴史と伝統の有るもので誇りと致して居ります。

青年会議所の綱領としては、われわれJAYCEEは社会的、国家的、国際的な責任を自覚し、志を同じうする者相集い力を合わせて青年としての英和と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築きあげよう」と謳って居り、会員同志は友情・奉仕・修練の3点を眼目と致して居ります。

当所は、Actionと云う広報紙を発行、全市家庭に6,000部を配付しまして青函トンネル完成後の青函航路の存続、及び新幹線時代の観光の有方等をテーマとして広く学者為政者、市民と討論会を開くなど広く交通問題等討議するなど、将来吾々が担う函館のために日夜勉強致して居ります。

世間の一部では政治の片棒をかついで居るとか批判されて居りますが、けっして政治的な動きなどいたして居りません。

JC運動のめざすものは

- 1、「若い団体」です。メンバーの条件の一つに年齢制限があります。満20才から40才までに制限されて居ります。
 - 2、「同志的な結合の団体」です。「明るい豊かな社会」の建設を運動の究極の理想としております。
 - 3、「国際性の豊かな団体」です。日本の各地JCは国家JCとしての日本青年会議所で代表されます。更に、日本JCは世界的な組織であるJCIに加盟し、日本JCの立場は極めて重要な地位にあり、毎年役員を送っています。
 - 4、「社団法人函館JCの現状」今年の6月で日本には557JCで4万1千名余りのメンバーがあります。来年は創立25周年を迎えます。特に今年は「交通問題を重要なテーマ」として取り上げて居ります。
- 以上前に申し上げた綱領等御理解いただき、R.C.会員の皆様のご協力を願うものです。

◎出席報告

会 員 数	52 名	出 席 率	函 館 北 (9 / 18)	92.31%
出 席	34 名		函館亀田 (9 / 2)	88.57%
欠 席	18 名		函 館 東 (9 / 3)	97.87%
他クラブ出席	14 名		函 館 (9 / 5)	93.07%
出席合計	48 名		五 稜 郭 (9 / 6)	100%
出席除外者	0 名			

次回例会日 10月 2日

プログラム 北海道開発の問題点
 小笠原 孝氏

◎会長報告

9月は世界理解週間、10月は青少年活動週間、11月はロータリー財団週間でありまして、10月になるとさらに地区大会・インターアクトの年次大会など行事が混みあっています。各会員にあつては益々の今後の活動をあわせてお願いします。

9月21日分区の会長、幹事会が行なわれた。東クラブの会長より次年度に行なわれる地区大会を市内4クラブが補ホストになり、東クラブがホストになり引きうけざるをえなくなりましたので物心両面にわたって援助をお願いします。又、同日遺愛高校に於て函館医師会の主催で宮崎亮医師による「密林の生と愛と死、について」講演がありました。

◎幹事報告

函館ロータリークラブより40周年記念ゴルフ大会の案内がきております。10月20日大沼コースにて開催、賞品多数。

◎国際奉仕委員会

オーストラリアの駆逐艦を見学してきました。その際軍医と色々話しをしてきましたが、今の戦争では大量虐殺が行なわれるので軍医はあまり役に立たないと云う事でしたがって普段の兵隊の健康管理を行なっていると云う事です。

◎親睦活動委員会

吉井会員 久方ぶりのホームクラブ出席
野村会員 余りさびしいので何となく

◎「亡びゆく函館の文化財」、函館工業高校 川島 龍司氏

はじめの計画では「私の見る観光都市」と云う題でありましたが、時間の関係で「亡びゆく函館の文化財」と云う事で私の意見なり、皆様の協力をお願いして函館と云う町をいかにして守っていったらいいかと云う点をお話したいと思って話題を変えさせていただきました。

北海道の文化はとりわけ道南の文化は今から 850年位前に津軽南部の漁師が半島に来て、ニシンその他の漁をして生活を始めたのが事の起りです。この時代はアイヌの領地であったわけです。そう言う意味でアイヌと和人の葛藤が行なわれた所でもあります。

古い歴史をもっている町であり、外来文化の導入が非常に早く行なわれた町でもあります。ペリーが函館に開港をせまってきたおり、わずか20日間ばかりの間に函館の港湾をほとんど調査しております。その当時の外国では函館は極東の重要拠点であり、極東のジブラルタル海峡であり、ここを制する者は極東を制すると云う位重要な位置であったのです。その後函館が開港されて色々な西洋文化が導入されてきました。教育と云うものは教会を通じて婦女子になされていたのです。函館は北の長崎であると言われるのもこの辺にあるのです。又、北国船の活躍によって内地の文化を特に京阪地区とか瀬戸内海沿岸の文化をもってきてくれたのです。そう云う古い文化をもちながら、今函館の姿をみてみると将来どう云う方向に進むのか私はあるグループを通じて研究中であります。

函館の観光計画を外部のコンサルタントに高価な金をつぎこんで頼んだりしているが私は非常にこれには憤りを感じているのです。地元の間が地元をよく知っているはず

なのにそれを第三者が湯の川あたりに一泊して素通りの函館はこうあるべきと云う判断を下すにいたってはまことにけしからんやり方であり、そう云う行政のやり方がまちがっていると思うのです。やはり地元の学者、有識者に集ってもらって充分な検討をする必要があるのです。

①明治40年に建てられた函館郵便局を解体して近代的ビルにすると云う話があります。私はこの建物を無くしたならエキゾチックなこの町が無くなるであろう。何とか外部だけでも残してくれないか。これをこわして高層ビルを建てるにしても函館の資本でなく外部の資本である。この様に外部の資本が函館の歴史をつぶしていってしまう。残ったものは一体何かと云う事を考えてもらいたいと思います。

②旧渡島支庁の野幌移転の話

歴史と云うのは、その土地にあつて価値があるものであるのに、そのものが消えさるのは残念な事である。

幸いにして公会堂が国の文化財に指定された事はまことにうれしいかぎりであり函館にも由緒ある古い建物があるにもかかわらず、函館市民が何らの関心を示さないのは残念な事でもあります。

あの基坂の石だたみは東北には無いのに何故愛着を感じないのか。長崎の石だたみは大変な観光資源になっていると云うのに、我々が求めるものは人間が自然に帰ると云う事であり、祖先の残してくれた歴史をもう一度ふりかえってたずねる事が大切な事であると思います。

私は現在観光関係の仕事もしていますが、今函館に不足しているのはバスと宿舎であると思います。宿舎の問題は、例の郵便局を改装してユースホテルにしない。又道南青年の家、ソビエト領事館もユースホテルに開放しないと説いています。そうする事によって若い色々な知識を求めに訪ずれる内地の人、外国人をも泊めれる施設と云う事を考えなければならぬと思います。30万の人口を50万、60万にふやすには観光以外にないと思います。先祖の残してくれた遺産を何かの機会に残しておきたいと思っている次第です。

★第351地区大会・会長代理紹介

1974～1975国際ロータリー第351地区年次大会R.I. 会長代理に、R.I. 第1副会長ジョージP・サースフィールド (George P. Sarsfield) 氏の来道決定。同氏は当地のほか第354・360・367・368地区を会長代理として地区大会に出席されることになっております。

経歴

- ・カナダ、バンクーバー生れ (米国籍)
- ・モンタナ大学卒業
- ・モンタナ州ピュートにおいて弁護士開業
- ・モンタナ大学、モンタナ鉱業技術大学役員、ピュートYMCA会長
- ・元モンタナ州ゴルフ協会々長、全米ゴルフ協会委員、モンタナ州オープンゴルフのチャンピオン、アマチュアゴルフ大会4回優勝
- ・1951年モンタナ州ピュートR.C. 会員、1973～1975年度R.I. 理事
- ・1974～1975年度R.I. 第1副会長
- ・岳父Tom J. Davis氏はR.I. 元会長です。

★ゾンタ・インターナショナルとは

- ゾンタとは、スー族インディアン語で「誠実」という意味です。
 - 実業専門職の女性の集りで、それぞれの所属する共同体に対する奉仕と価値を増大させ、ゾンタの奉仕という理想のもとに世界的規模の友好を通して親善平和に努力する
 - ゾンタ・インターナショナルは、国連のECOSOC、UNESCO、UNICEFに諮問機関としての地位が認められています。
 - ゾンタの歴史は、1919年ニューヨーク・バッファローに三つの州に9つのクラブの連合が創設されたのが始まりで、本部事務所がイリノイ州に選ばれた後、イリノイ州律のもとに法人組織となった。
 - ゾンタの活動は、国際的なものとして航空宇宙科学を専攻する優秀な女性に与えられるアメリカ・エアハルト寄金。避難民のためのアンネ・フランク・ヴェレージの建設そして小児科の医療施設を発展途上国の田舎で運営。この最初のは西アフリカのガーナに建設された。
- 尚、ゾンタクラブは、それぞれの地域に於て福祉活動を行なっております。

★日本ロータリー五十年史の購入お勧め

2年前に出版されたものですが、日本ロータリーのことがよくわかります。特に新クラブの会員の皆様および新入会員の方にお勧めいたします。ご希望の方はクラブからロータリー文庫に申し込んで下さい。代金は一冊2,000円です。

◎出席報告 (9月18日)

会員数	52名	出席率	函館北 (9/8)	94.23%
出席	40名		函館亀田 (9/9)	88.57%
欠席	12名		函館東 (9/10)	98.91%
他クラブ出席	9名		函館 (9/12)	92.27%
出席合計	49名		五稜郭 (9/13)	100%
出席除外者	0名			

★第517回例会欠席者 (9月25日)

岩塚・大井・森(富)・小村・成田・広瀬・小笠原・佐々木・柴田・松橋・佐藤・山内(文)・平山・山矢 (以上14名 敬称略)

次回例会日 10月9日
プログラム 北海道開発の問題点、
小笠原 孝会員



第351地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第519回例会

1974~1975 第15号 1974. 10. 9

「Renew the Spirit of Rotary」
「ロータリーの精神を振るい起こせ。」
(William R. Robbins R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 (0138) 23-3870

本日のプログラム
アメリカ万博視察
野村 宜市会員

第518回例会記録

- ◎司会 青柳 喜一会長
- ◎ゲスト 木村 清満氏 函館刑務所教誨師
- ◎ビジター 名古屋R.C. 鈴木総一郎君 シニア・アクチブ
小樽R.C. 北川 暁一君
函館R.C. 大坂谷道三君 他10名
- ◎斉唱 君が代・奉仕の理想